フォーマットを変更しない。ＭＳ明朝10.5ポイントで記載。

数字はは半角。見出しは2字換算。

――――（以下に記入）――――

教育福祉委員会視察報告

令和6年1月30日、31日の2日間の日程で大阪府泉大津市役所及び大阪府寝屋川市役所への視察を行いました。

あしゆびプロジェクト（大阪府泉大津市）

　現代の子どもの約8割が足部に何らかの異常を抱え、また、高齢者の要介護の原因となる転倒は、足の指が浮いていることが原因であると言われています。「あしゆびプロジェクト」は幼児教育から転倒防止や健康寿命の延伸まで、「官民連携」「市民共創」のもと市民と楽しく取り組みながら、シビックプライドの熟成を図っています。現在は「正しいセルフケアで効果が得られる」と考え、予防の観点からプロジェクトを進めています。本市の公立保育園では草履を履いたり、リズム運動により足腰を中心に体全体の運動を取り入れています。高齢者には買い物リハビリや各事業者によるラジオ体操などで、健康増進に努めています。本市においても、医療費増大の懸念があるため「あしゆびプロジェクト」を参考にする必要があると考えます。

いじめ対応（大阪府寝屋川市）

寝屋川市は「いじめは、子どもに対する人権侵害である」という考えから、監察課を置き、第三者的な立場からいじめ問題の迅速な解決を図っています。いじめ問題の99％は学校や教育委員会で解決できていますが、いじめ問題を複雑化、深刻化させないため、役割を明確化することが重要と考え「教育的アプローチ」と「行政的アプローチ」を並走させ、積極的にいじめ対応に当たっています。令和2年1月に「子どもをいじめから守る条例」が施行され、当事者間に関係修復が見えない場合、市長は学校に別室指導、出席停止、クラス替え、転校などを勧告・助言できるようになりました。また、毎月の全小中学校へのいじめに関するチラシの配布は、いじめの抑止力につながっているとのことでした。本市のいじめについては、ほとんどは学校で解決しているとのことでしたが、子どもの命に関わることでもあり、寝屋川市のいじめ対策は、子育て世帯の多い本市にとっても参考になると考えます。

【写真キャプション】「足指力計測器」